

津久見市

R7.1.1 住民基本台帳人口：総人口…14,980人 男…7,089人 女…7,891人 世帯数…7,562世帯

R7.1.1 総面積…79.48km² 公共施設数（令和5年度）：小学校…9校 中学校…6校

出典：令和7年度版 大分県市町村ハンドブック



石川 正史 市長

津久見市は「みかん、セメント、野球のまち」です。近年の年間の出生数は40人程となっていますが、子ども一人ひとりが宝であり、市全体で大事にしています。子育て支援に力を入れるとともに、津久見市に欠かせない津久見高校支援の充実を図ります。他にも資源を活かした新たな製品の開発、移住定住政策、地域活性化などに継続的に取り組んでいくため、津久見市へのご支援をどうかよろしくお願いいたします。



寄付御礼

- ・贈呈式開催（首長出席、寄付額50万円以上）
- ・感謝状贈呈（寄付額50万円以上）
- ・地公体広報誌掲載
- ・HP掲載
- ・視察受入
- ・功労者表彰推薦
- ・紺綬褒章推薦
- ・その他

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み



カテゴリー2 過疎対策・定住移住

人口減少対策

近年、出生数が激減していることや、転出超過が改善されていないことなどにより、人口減少に歯止めがかかっていない状況です。人口減少は地域活力や地域経済への影響も大きいことから、状況を改善するために、子育て・教育環境の整備や、つくみ産業博などを含めた雇用のマッチングの仕組みの構築、津久見と「ゆかり」のある方への津久見のイベント・暮らし情報発信など様々な取組を進めています。



カテゴリー4
児童福祉

切れ目ない子育て支援

子育てのステージに応じた様々な助成制度や5歳児健診や園巡回などを通じて様々な専門家による発育状況の見守りなど、多機関協働による子育て世帯を孤立させない寄り添った支援を行っています。ふるさと教育による郷土愛の醸成やICTを活用した教育の充実などにより、津久見での子育てをしっかりとイメージできるような取組を推進します。



津久見市まち・ひと・しごと創生推進計画

若い世代が未来を託せるまちづくり

基本目標

1

住みたい、住み続けたい、魅力あるまちへ

若い世代の転出抑制、転入増加につなげるため、自分が生まれたまちで、できる限り快適に住み続けてもらう取組や、自分が育ったまちへもどってきてもらう取組を進めています。

基本目標

2

子育て世代に選ばれる、産み、育てやすい環境づくり

子育てのステージに応じた切れ目ない支援、地域ぐるみで子どもを見守る体制整備、ふるさと教育やICTを活用した教育の充実などにより、津久見での子育てをイメージできる取組を進めています。

基本目標

3

安定した雇用の創出と労働力の確保、新たな就労環境の整備

仕事の情報提供やマッチングの仕組みの構築、観光と多様な産業の連携による新たな雇用の創出、一次産業の基盤整備による新規就農・就漁の促進などにより転出抑制・定住促進の取組を進めています。

基本目標

4

津久見との「ゆかり」を大切に新しい人の流れをつくる

津久見出身者や津久見と「ゆかり」のある方々への情報提供を引き続き行うとともに、津久見への来訪者などが「つくみFAN」として津久見の発展をサポートしてもらえるような体制を構築する取組を進めます。

重点
プロジェクト子育て世代に選ばれる
まちづくりプロジェクト

(SDGs) 関連するゴール



総事業費

— 寄附目標額 —

数値目標

- 出生数……………80人(R2) → 80人(R7)
- 津久見市内中学校から津久見高校への進学率…47.5%(R1) → 60%以上(R7)

年間の出生数が40人前後と大きく減少する中で、保育料の無償化や学校給食費の支援など、子育てのステージに応じた切れ目ない支援や地域ぐるみで子どもを見守る体制整備に加え、一人ひとりを大事にし寄り添った支援など津久見にしかできないサービスを充実させ、津久見での子育てをイメージできるような情報発信を行います。また、1市1校である津久見高校との連携を図りながら、資格取得の受験費用の補助や硬式野球部強化のための部活動支援、市内在住者への入学応援金の支給などにより津久見高校の魅力向上を支援します。

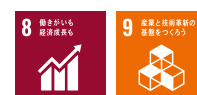
寄附の
具体的な
メリット

- 10万～ 市HPへの掲載
- 50万～ 感謝状贈呈式開催

重点
プロジェクト

雇用創出・若者定住プロジェクト

(SDGs) 関連するゴール



総事業費

— 寄附目標額 —

数値目標

- 新規就業者数…………… — (R2) → 130人(R7)
- 津久見高校新規卒業者の市内事業所への就職者数…30人(R1) → 30人(R7)

企業等では、人口減少に伴い就業者不足が懸念されており、第一次産業や商店等については、担い手、後継者不足が懸念されています。特に、高校卒業後、市外への就職や大学等への就学による転出後、Uターンで戻ってくる人も多くはない状況となっています。そういった状況を打破するために、市内唯一の高校である津久見高校の生徒や保護者に対して市内企業や事業者を紹介する「つくみ産業博」の開催や津久見市内に住み、市内外で働く方に対して、条件に応じて奨学金の返還を最大10年間で100万円又は50万円支援しています。

寄附の
具体的な
メリット

- 10万～ 市HPへの掲載
- 50万～ 感謝状贈呈式開催

●その他の寄附事業に関しましては、最寄りの大分銀行までお問い合わせください。